

# おおいしだのとんとむがすあつたけど(28)

## 里の赤鬼 その2

赤鬼は、なんばしたて、人間のわらすだぞ友達になつだえくて、青鬼さ相談したて駄目だす、一人で考へで、木を伐り始めだけど。ほしたら、青鬼がきて、「何しつたなや。」

て言ふはげ、赤鬼は、

「これから、雨降つたり、風吹いたりすつど寒いはげ、ただ、木五本伐つてきて、三角な小屋こ建てんなど。」

と言うと、

「んだら、おれも手伝いする。」

と言つて、堤の近くさ小屋こ建でだんだけど。青鬼が手伝つてけつだので、ちえことのこまえ(わずかな時間)で、できだけど。

青鬼はまだ、

「何かうまい物とつてくつからな。」

て言つて、山さ出がげでいつたけど。

赤鬼あ、何したら人間のわらすだぞ友達になるえべなと考えだけど。ほして、ここは、わらすだが、ぞつこへめ来たり、沢蟹(さわがに)へめ來たりすつど(だがらなあと思つて、小屋の入口のどこさ、「赤鬼の家です。みんな遊びにきてけろ」と書いておいつだけど。

爺んつあと婆んつあが山さ、こしょ芋どがいちごどが植えつだなをとりにいぐ時、

「何だがあそごさ小屋こ建だつた、何だべな。爺んつあ。」  
て婆んつあが言つたので、見に行つたら、

「赤鬼が、遊びへ来てだなあ、婆んつあ。  
「わらすだばだますかんじよ(つもり)して、何たくらんでい  
るんだべな。」

と言ひながら山さ行つたけど。仕事終わして山がら帰つてくつど、赤鬼の家の前に、大つけな蟹ぶら下がつたがら、婆んつあ、

「爺んつあ、あそごさ、大つけな蟹ぶら下がつた。何て

書がつたんだや。」

て行つてみだえ、  
「赤鬼の家です。お湯もわいています。栗も焼けています。遊びに来てください。て書がつたんだ。」

て言つたけど。

「わらすだばだまして、うまい物でもとるかんじよだべちゃな。婆んつあ言いながら、爺んつあと二人で、山がら下りできたど。わらすださ、

「鬼が、小屋建てで、お前だをだますかんじよで待つていつから、遊びへ行つてだめだがらな。ぞつこへめも行ぐなな。」

と言つて聞かせだら、わらすだが、本気して  
「あそごさ遊びへ行つてだめだて、おれの爺んつあと婆んつあ言つたがら、ぞつこへめ行がねは。」

て行がねんだけど。

ある秋の天氣のいい日、わらすだが誘い合つて、みんなで栗拾いに行つたけど。鬼のいだごを気づかんねえようにはんずがえ(静かに)山さ登つて行つたけど。

わらすだが栗拾いしつたれば山の陰の方で、ゴロゴロビ雷様(らいさま)の音がしてきたど。一番大つきい大吉が、

「みんな栗拾たがら、わらわら家さ行くべは、雷様なるがら。」  
と言つたので、みんな並んで山からとつとど下りて帰つて来つどき、堤の所さ来たら、ものすごい音でガラガラ、ゴロゴロ、ビガビガ、ジャージャーと雨が降つてきたっけど。

(つづく)

○出典『大石田のとんとむがす』  
(大石田とんとむがすの会編集・発行、二〇一九年)

大石田町公式アカウント開設  
**LINEはじめました**

防災情報などを受け取ることができます。  
**友だち登録をお願いします！**

登録方法  
右の二次元コードを読み取って友だちに追加してください。

  


大石田町公式LINE

**防災放送の内容を電話で確認できます**

防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したい等のご意見をいただき、町では防災放送確認ダイヤルサービスを開始しました。

このダイヤルは定時(夕方6時のメロディ等)放送を含め、直近の放送から8時間以内の内容を順次聞くことができます。

**確認ダイヤル: 0237-48-8444**

■総務課総務グループ TEL35-2111 (内線218)

町の人口 令和5年6月1日現在		
世帯数	2,246戸	(-4)
総人口	6,217人	(-16)
男	3,086人	(-5)
女	3,131人	(-11)
(5月中の異動)		
出生	1人	転入 5人
死亡	9人	転出 13人

※この人数は外国人も含めたものです。